第 41 回　埼玉県乳がん検診セミナー

日時　　令和９年１月２３日（土）午後４時半～
場所　　埼玉県県民健康センター２階大ホール 及び Web

プ ロ グ ラ ム

受　　付　（16:00～）
総合司会　　がん検診医会乳がん検診部会委員　　守屋　智之

（16:30～）

開会の辞	がん検診医会乳がん検診部会長	二宮　淳
挨　拶	埼玉県医師会長	金井忠男
	埼玉県保健医療部長	縄田敬子
	がん検診医会長	原　直

メインテーマ『今後のマンモグラフィ検診を考える』

教育講演　16:40～17:20）　0.5 単位（C:11）
テーマ「対策型検診の課題」
座　長　　がん検診医会乳がん検診部委員　　関根　　理

講演Ⅰ　（16:40～17:00）
『乳がん検診精度管理プロセス指標の改訂』
講　師　　こう外科クリニック院長
がん検診医会乳がん検診部会副会長　　洪　　淳一　先生

講演Ⅱ　（17:00～17:20）
『対策型乳がん検診において高齢受診者は除外すべきなのか？』
講　師　　新都心レディースクリニック院長
がん検診医会乳がん検診部委員　　甲斐　敏弘　先生

特別講演　（17:20～18:20）　1 単位（CC: 0）

座　長　　がん検診医会乳がん検診部会委員　　山田　博文

『ＡＩはマンモグラフィ検診を支援できるのか』

講　師　筑波記念病院　副院長・放射線科診療部長　　鯨岡　結賀　先生

閉会の辞　　がん検診医会乳がん検診部会委員　　守屋　智之

※日本医師会生涯教育講座（1.5 単位）です。（CC： 11 、0 ）